

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

若江中学校区 的特色ある取組み

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

若江中学校区は、若江幼稚園、若江小学校、玉美小学校、若江中学校の4校園からなる中学校区で、「**わ**になって **かん**がえぬいて **たく**ましく **まえ**にすすむ子ども **“わかたまっ子”**で“15才の春”を迎える！～先のことを見通し、自分で判断できる子ども～」をめざす子ども像としています。

「つきたい力」の育成をめざして

若江中学校区では、「**決める**」「**チャレンジする**」「**やりぬく**」「**きく**」「**思いやる**」「**つながる**」の6つのつきたい力を軸にさまざまな教育活動を行っています。

今回はその中でも「**つながる**」の育成に関する取組みについて紹介します。

学校園のつながり

幼中交流（運動会）

中学校の運動会では、園児と中学生と一緒に出場するプログラムがあり、ダンスやバルーンの演技をしました。運動会当日だけでなく、事前に中学生が幼稚園に訪問して、自己紹介やダンスの練習などをして一緒に遊んだり、運動会のリハーサルをしました。中学生は園児とつながることで、「相手に優しく接する気持ち」や「何事にも全力で楽しむ気持ち」を、園児は中学生とつながることで、「お兄さん・お姉さんへのあこがれの気持ち」等を持つことができました。この気持ちをこれからの学校園生活でも大切にしながら、今後もつながってほしいです。



バルーンの演技をする園児と中学生

○ペアの幼稚園の子が元気で楽しくおどってくれたので、私たちも楽しくなりました。全力で楽しむことの大切さを幼稚園の子どもたちから教えてもらいました。これからの文化祭の行事なども、全力で楽しんでいきたいです。（中学生）

小中交流（中学校登校）

9月の中学校登校では、毎年恒例となる中学2年生と小学6年生の合同体育がありました。行進や整列など集団行動の内容で中学生が小学生にやさしく教えていました。教える側の中学生は自分が小学6年生の時に中学校登校で、当時の先輩に教えてもらっていた事を覚えていて、「今度はぼくらの番やな!」と積極的に授業に取り組んでいました。グループを作ってどうしたらより小学生に分かりやすく教えられるか相談しながら進めるなど主体的な姿が多数見られました。



集団行動を教える中学生

○中学生が教えてくれたのが嬉しかった。中学校では体育の授業でこういうことをしてるんだと事前に知れてよかった。（小学生）

○中学生がとてもやさしくて安心しました。中学生が教えるのがうまくてわかりやすかったです。小学校の今後の体育でも中学生から習ったことを生かして体育をしていきたいです。（小学生）

○6年生に教えるのは緊張したけど、一生懸命教えたことを小学校でもしてくれてうれしいです。（中学生）

他にも、幼小交流（お祭り交流）では、若江小学校の「わかえっこまつり」に園児が参加しました。高学年が園児に遊び方を丁寧に説明する場面があり、これをきっかけに、低学年への接し方を学びました。また、今年度より小小交流を全学年で実施しています。運動会のダンスをお互いに見せ合ったり、6年生が中学校登校でドッジボール交流を行ったりしました。子ども同士がつながる場面がたくさん見られ、子どもたちからも「来年も交流するのが楽しみ!」という声が出ており、今後も学校園のつながりを大切にしていきたいです。

地域とのつながり

クリーン作戦

～今年度のクリーン作戦のスローガン～

「ゴミをゼロへ みんなで楽しくきれいなわかたま校区をつくろう」

児童会・生徒会が参加するこども会議にて協議し、スローガンを決定しました。

若江中学校区では、毎年「クリーン作戦」を実施しています。校区内や各学校の清掃を小学生・中学生・教職員・地域の方で行います。今年度、幼稚園では、園児・教職員・保護者・地域の方で幼稚園前の公園の草抜きと清掃を行いました。地域の方とつながることができる取組みを今後も続けていきます。

児童会・生徒会による こども会議



幼稚園のクリーン作戦



繩手北中学校区の特色ある取組み

繩手北中学校区は、繩手北中学校、繩手東小学校、繩手北小学校の3校からなる中学校区です。今まで学んだことを活用し、自分に関わる様々な問題や社会の課題、興味関心のある出来事に対して、主体的に考える力の育成をめざし、子ども同士のつながり、地域とのつながりなどを大切にしながら、どの学年でも『探究すること』をテーマに教育活動を行っています。そして、今年度はSTEAM教育にも取り組んでいます。

教育活動の中で探究していく子どもを育む

中学校区決定プログラム「虹色プロジェクト」や夢TRY科、各教科の授業など様々な教育活動において、探究すること【自ら課題を設定し、その解決に必要な情報を集め、クラスや学年の仲間と意見を交流しながら整理することにより自分の考えを深め、まとめて表現する活動】に取り組んでいます。このような教育活動を通して子どもたちは探究する力を育てています。

探究している子どもの姿



校区で取り組んでいるSTEAM教育をはじめとする、『探究すること』を通して、子どもたちが学習に対して、前のめりになる姿や生き生きと交流する姿、真剣に取り組む姿が多く見られるようになり、それが「もっと知りたい」「深く学びたい」という主体的に考える力の育成につながっています。